

誓約書・同意書

記入日：西暦 年 月 日

東北学院大学長 大西 晴樹 殿

私は、東北学院大学の教育が、キリスト教主義に基づいて行われており、毎日の礼拝や聖書の学び、さまざまな宗教活動を重んじていることを理解したうえで、貴学への入学を希望し、入学者選抜にお願いいたします。東北学院大学に入学を許可された際には、大学の諸規則、指示及び遵守事項を固く守り、学業に専心し、学生の本分に反しないことを誓約いたします。

私は、出願時・入学時・在学中・卒業（修了）後の就職・進学先等、貴学に提供する個人情報及び在学中の教育・学習活動において情報システム等に蓄積された教育・学習データについて、「東北学院の『個人情報保護』に関する取り組みについて※」、「教育・学習データ利活用ポリシーの策定について※」の記載に基づき取り扱うことを理解し、その取り扱いに同意します。

(出願者)

現住所	
氏名	(自署)
生年月日	西暦 年 月 日 生まれ

私は、学則第 20 条に基づく保証人※として、上記出願者の在学中の事項について出願者本人と連帯して責任を負い、同出願者が上記誓約を守るよう指導・監督する責任を負うことに同意します。

私は、同出願者の出願時・入学時・在学中に貴学に提供する保証人の個人情報について、「東北学院の『個人情報保護』に関する取り組みについて」の記載に基づき取り扱うことを理解し、その取り扱いに同意します。

(保証人)

現住所	
氏名	(自署)
本人との関係 (○を付ける)	父・母・兄弟姉妹・祖父母・おじおば・ いとこ・その他 ()

※「東北学院の『個人情報保護』に関する取り組みについて」 (所管部署：法人事務局庶務部企画課)

URL：https://www.tohoku-gakuin.jp/general/privacy.html

※「東北学院大学における教育・学習データの管理に関する基本方針」 (所管部署：東北学院大学学務部学修支援課)

URL：https://sites.google.com/g.tohoku-gakuin.ac.jp/tgu-dx-portal/ホーム/東北学院大学における dx への考え方

※保証人 (学則第 20 条)

- 保証人は父母とする。ただし、父母が保証人となることができない場合は、学生の親族又は縁故者が保証人になるものとする。
- 保証人は、学生の在学中の事項につき学生本人と連帯して責任を負う。
- 前項に規定する保証人の責任は、東北学院大学学則第 41 条の別表第 5 に定める学納金の額から算出した在学中の納入額を上限とする。
- 保証人の転居、改印、改氏名などはその都度届け出なければならない。
- 保証人が死亡又はその他の理由によって資格を失ったときは、新たに保証人を定めて届け出なければならない。



1 (Ù i í - i

202X \ \

	jÇQ•:-\3ÔH}α-Ü	3-1
	a. Ô	()
	2007	5 15

20

WEB

()

	jÇQ•:- •ÔN ŠĂ	3-1
	a. J”	()
()	○	

URL <https://www.tohoku-gakuin.jp/general/privacy.html>

URL <https://sites.google.com/g.tohoku-gakuin.ac.jp/tgu-dx-portal/> / dx

20

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.

41

5

氏名

Ⅶ. 高校生活の中で、主体的に取り組んだ探究的な学習活動の一つを選び、その概要を下記のA～Eにまとめてください。高校の授業外で行った活動の記録や成果でもかまいません。グループによる学習活動の場合は、あなたが担当した役割等がわかるように記述してください。

A. 学習を始める際に考えた課題や予想（課題設定のきっかけ、予想や仮説、学習の見通しについて書いてください）

B. 課題解決に向けた取り組み（情報収集として行なった調査、文献、訪問先等、どの手段で何を得たのかを書いてください）

C. 調べて分かったこと・考えたこと（整理・分析の具体的な手続きと得られた結果とそれに対するあなたの考えを書いてください）

D. 学習の成果（まとめ・表現として、成果物の形式・分量と、成果物に対して誰からどんな評価を得たのかを書いてください）

E. ふりかえり（A～Dまでを通して身につけた力や自身の成長と、今後のキャリアとの関係について書いてください）

東北学院大学 学校推薦型選抜 学校長推薦書

西暦 年 月 日

東北学院大学長 殿

学 校 名
学 校 長 名
学 校 所 在 地 〒 —
電 話 番 号



下記の者は、貴大学 _____ 学部 _____ 学科の
学校推薦型選抜（学業成績・キリスト者等・資格取得・スポーツ・文化活動）の要件に全
て該当し、学業成績・各種活動実績及び人物等から適格者であり、合格した場合は入学す
ることを確約できる者と認め、責任をもって推薦します。

記

フリガナ

出願者氏名

出願者生年月日 西暦 年 月 日

推薦理由 [学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して
学ぶ態度）に関する評価をふまえたうえで記述してください。]

※下線に志望学部学科を記入してください。

※二重下線の学校推薦型選抜区分から出願する選抜を○で囲んでください。

【学校推薦型選抜様式：D6-5】

2026年度 東北学院大学 学校推薦型選抜 文化活動に優れた者の推薦

自己推薦書:文化活動実績及び誓約

志望学部・学科	学部	学科	※大学使用欄
---------	----	----	--------

文化活動名	文化活動コード	高校での文化活動・団体名	役割(部長・副部長・楽器・パート等)

フリガナ				出身校	都・道府・県	国立・公立・私立
氏名					学校	
生年月日	西暦	年	月	日	性別	男・女
現住所	郵便番号	—	電話	—	—	
	都・道府・県					

主 な 活 動 ・ 記 録			
1 学 年	主な出場大会・コンクール等	①	②
	成績・記録・活動内容		
2 学 年	主な出場大会・コンクール等	①	②
	成績・記録・活動内容		
3 学 年	主な出場大会・コンクール等	①	②
	成績・記録・活動内容		

既卒者の方のみ記入：学校卒業後、文化活動はどこで続けましたか。学校卒業後の「主な活動・記録」がある場合は、備考欄に記入してください。

1. [] の一員として 2. どこにも属さず自分で 3. その他 []

備考欄

本書の各記載に誤りがないことを証明する。 記入日：西暦 年 月 日

[出願者との関係:○で囲みます]

1. クラス担任 2. クラブ顧問 3. その他「 」

証明者氏名 _____ (印)

選抜に合格し、入学した際には貴学文化活動 _____ を行う団体に所属し、その活動に積極的に参加することを誓約します。

記入日：西暦 年 月 日

自署： _____

文化活動の活躍の記録

氏名		記録の追加有・記録の追加無	枚中の
----	--	---------------	-----

予備審査にて提出したものを再度提出する必要はありません。

- ◎予備審査書類提出以降の活動で「文化活動の活躍の記録」として提出できる資料が増えた方は、「記録の追加有」を○で囲み、追加となった「文化活動の活躍の記録」を貼付して提出してください。
- ◎予備審査書類提出以降の活動で「文化活動の活躍の記録」として提出できる資料が変わらない方は、「記録の追加無」を○で囲み、何も貼り付けない本書を提出してください。

重ね貼り禁止

(貼付資料が複数枚ある場合はこの用紙をコピーし、貼付してください)

【注 意】

1. 賞状、認定証、新聞記事、雑誌等の切り抜きのコピーをこの枠内に貼付してください。(A4判 80%程度に縮小してください)
2. 各貼付物には大会名、年・月、掲載された新聞紙名・雑誌名を添え書きしてください。
3. 貼付資料の重ね貼りをしないでください。大きいものはこの用紙の枠からはみ出さないように縮小コピーしてから貼付してください。
4. 用紙が複数枚必要な場合は、この用紙をコピーして貼付してください。この用紙が複数枚になったとき、例えば3枚の場合は右上の「枚中の」は3枚中の1、3枚中の2、3枚中の3と記入してください。

○出願にあたっての注意事項及び「D6-5：自己推薦書：文化活動実績及び誓約」の記入例

- 文化活動に特に優れている者とは、全国規模の大会または都道府県の大会において活躍し、優れた成績をおさめた方（団体競技の場合は、優れた成績をおさめたチームの一員である方を含む）及び、これに準ずる優れた能力、技量を有する方のことです。
- 出願書類に虚偽の記載があった場合には、合格及び入学を取り消す場合があります。
- 印欄を除き、漏れなく消せない黒ボールペンで記入してください。
- 文化活動名・文化活動コード欄は、本書に添付されている「文化活動名とコード表」を確認し記載してください。（募集要項の出願資格を満たす種目をご記載ください。）
- 大会・コンクール名は省略せず、必ず正式名称で記入してください。
- 「備考欄」の記入について

「主な活動・記録」の欄で書ききれない大会や活動、特に優れた技量、または校内活動等においても特記すべき内容があれば記入してください。

〔例〕国際大会の経験、海外遠征、生徒会活動、クラス内における活動、地域貢献活動、その他。

大学で活動を希望する文化活動を本書に添付されている「文化活動名とコード表」を確認し記載します。

「役割」の欄は、部長、副部長、会計、パートリーダーもしくは担当の分野等（例：合唱であればパート、吹奏楽部であれば楽器名、放送であればアナウンサー、ディレクター等）、文化活動で担った内容を記入します。

1. 「主な活動・記録」の欄は、高等学校・中等教育学校での活動を学年ごとに記入します。
 2. 「主な出場大会・コンクール等」は、大会に出場した方のみ記入します。複数の大会に出場した場合は、成績の良い大会から順に2つ記入します。
 3. 大会やコンクール等で賞、順位等がある場合は、大会の規模も含めて具体的な内容を「成績・記録・活動内容」の欄に記入します。
 4. 活動内で中心的な存在として活躍したことがあれば、その内容を具体的に記入します。

学校既卒者のみ現在の状況を記入します。

出願者との関係を○で囲みます。その他の場合その関係も記入します。

本学の文化活動名を記入します。

出願者本人が署名をしてください。

【学校推薦型選抜様式：D6-5】
 2026年度 東北学院大学 学校推薦型選抜 文化活動に優れた者の推薦
 自己推薦書：文化活動実績及び誓約

志望学部・学科	文 学部 英文 学科	※大学使用欄
文化活動名	文化活動コード	高校での文化活動・団体名
合唱	424	音楽部
役割(部長・副部長・楽器・パート等)	部長・アルトパートリーダー	
氏名	学院 花子	宮城 〇〇高等 学校
生年月日	西暦 2007年 4月 2日	性別 男・女 <input checked="" type="checkbox"/>
現住所	郵便番号 980-8511	電話 070-XXXX-XXXX
	宮城 都・道 府・県	仙台市青葉区土樋1丁目3番1号 青葉ハイツ203号室
主な活動・記録		
1 学年	① 第〇回全日本合唱コンクール東北支部大会 ② 第〇回宮城県合唱コンクール大会	
成績・記録・活動内容	合唱コンクールの県大会では金賞で3位をとり、東北大会に出場した。東北大会では、銀賞で15位だった。文化祭では少人数のグループでゴスペルに挑戦した。秋には福祉施設への慰問演奏を行った。冬には第〇回宮城県合唱アンサンブルコンテストに出場、金賞を受賞した。	
2 学年	① 第〇回全日本合唱コンクール東北支部大会 ② 第〇回宮城県合唱コンクール大会	
成績・記録・活動内容	アルトのパートリーダーとして20人のパートをまとめた。合唱コンクールの県大会では金賞で3位をとり、東北大会では金賞で9位だった。文化祭ではミュージカルを行い、小道具作成を中心に行なった。秋には福祉施設への慰問演奏を行った。冬には第〇回宮城県合唱アンサンブルコンテストで金賞を受賞した。	
3 学年	① 第〇回全日本合唱コンクール全国大会 ② 第〇回全日本合唱コンクール東北支部大会	
成績・記録・活動内容	部長として60人の部員をまとめ、合唱コンクールの県大会では金賞で2位をとり、東北大会に出場した。東北大会では、金賞で4位をとり東北代表として全国大会に出場した。全国大会では銀賞で、15位だった。また、秋には福祉施設への慰問演奏を行った。冬には第〇回宮城県合唱アンサンブルコンテストに出場を予定している。	
既卒者の方のみ記入：学校卒業後、文化活動はどこで続けましたか、学校卒業後の「主な活動・記録」がある場合は、備考欄に記入してください。		
1. [] の一員として 2. どこにも属さず自分で 3. その他 []		
備考欄		
本書の各記載に誤りがないことを証明する。 記入日：西暦 2025年 10月 20日		
[出願者との関係：○で囲みます] 1. クラス担任 2. クラブ顧問 3. その他「 」		
証明者氏名 宮城 太郎		
選抜に合格し、入学した際には貴学文化活動 合唱 を行う団体に所属し、その活動に積極的に参加することを誓約します。		
記入日：西暦 2025年 10月 25日		
自署： 学院 花子		

文化活動名とコード表

文 化 活 動 名	本 学 の 団 体 名	文 化 活 動 コード
応 援 団	応援団	4 0 2
チ ア リ ー デ ィ ン グ	チアリーディングチーム	4 4 0
合 唱	キャロラズ（女声合唱） グリークラブ（男声合唱） 宗教部聖歌隊（混声合唱）	4 2 4
吹 奏 楽	シンフォニック・ウインド・アンサンブル（S.W.E.）	4 4 2
美 術	美術部	4 2 8
書 道	書道研究部	4 2 6
英 語	英語会（ESS）	4 2 0
演 劇	演劇部	4 2 2
放送（制作・技術・アナウンス等）	放送会	4 0 6
ロ ボ ッ ト 制 作	ロボット研究会	9 0 0